

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》濱田 淳一

【概 要】

人体構造機能学 ～ と合わせて、解剖・生理学の知識と考え方を会得し、人体の構築と機能の恒常性を維持する機構の巧妙さを学ぶ。このシリーズの講義は、今後開講される病理学、病態学、看護学などを習得する上で基礎となるものである。

【学習目標】

人体を構成している器官、組織、細胞、分子について学び、人体の基本構造をマクロからミクロの視点で理解する。それを踏まえた上で、人体構造機能学 では、消化器、呼吸器および循環器の構造と機能を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようになることを目標とする。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	序論 1	人体を構成するパーツ	濱田
2	序論 2	細胞の構造と機能	濱田
3	序論 3	組織の構造と機能	濱田
4	消化器 1	口腔・咽頭の構造と機能	濱田
5	消化器 2	食道・胃の構造と機能	濱田
6	消化器 3	小腸・大腸の構造と機能	濱田
7	消化器 4	肝臓・胆のう・膵臓の構造と機能	濱田
8	呼吸器 1	鼻腔・喉頭の構造と機能	濱田
9	呼吸器 2	気管・気管支の構造と機能	濱田
10	呼吸器 3	肺の構造と機能（１）	濱田
11	呼吸器 4	肺の構造と機能（２）	濱田
12	循環器 1	心臓の構造と機能（１）	濱田
13	循環器 2	心臓の構造と機能（２）	濱田
14	循環器 3	血管の構造・分布と機能	濱田
15	循環器 4	リンパ系・胎生期循環	濱田

【評価方法】

定期試験90%、授業参加状況（出席カードの設問に対する回答内容）10%

【備 考】

教科書：教科書：系統看護学講座 専門基礎1解剖生理学：人体の構造と機能（１）（医学書院）

参考書：ぜんぶわかる人体解剖図ー系統別・部位別にわかりやすいビジュアル解説（坂井建雄・橋本尚詞 著、成美堂出版）
病気がみえる1消化器、2循環器、4呼吸器（メディックメディア）

【学習の準備】

今回の授業範囲をに教科書で熟読しておくこと（20分）。配付プリントの復習問題を次回までに解いておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2